



エコアクション21
認証番号0011044

エコアクション21

環境活動レポート

取組期間
平成28年7月～29年6月



第3.1版

作成 平成 29年 10月 31日
改定 平成 30年 1月 25日



有限 熊池建設
会社

事業の概要

(1) 事業者名

有限会社 熊池建設
代表取締役 田尻照幸

(2) 所在地

本社 : 〒861-5526 熊本市北区下碓川1丁目7-12
資材置場: 〒861-5531 熊本市北区北迫町字図形584-1
土捨て場: 〒861-0142 熊本市北区植木町大字鏡田字桜井727-1

(3) 環境保全関係の担当者連絡先

環境管理責任者 : 田尻厚美
連絡担当者: 田尻佳奈子
連絡先 TEL:096-322-2093 FAX:096-322-2127

(4) 事業規模

資本金 3500万円
社員数 10人
売上高 1億2500万円

(5) 事業内容

建設業

認可番号:熊本県知事許可(特-29)第12510号

熊本県知事許可(般-29)第12510号

土木工事業、とび・土工工事業
石工事業、舗装工事業
造園工事業

(6) 運用年度

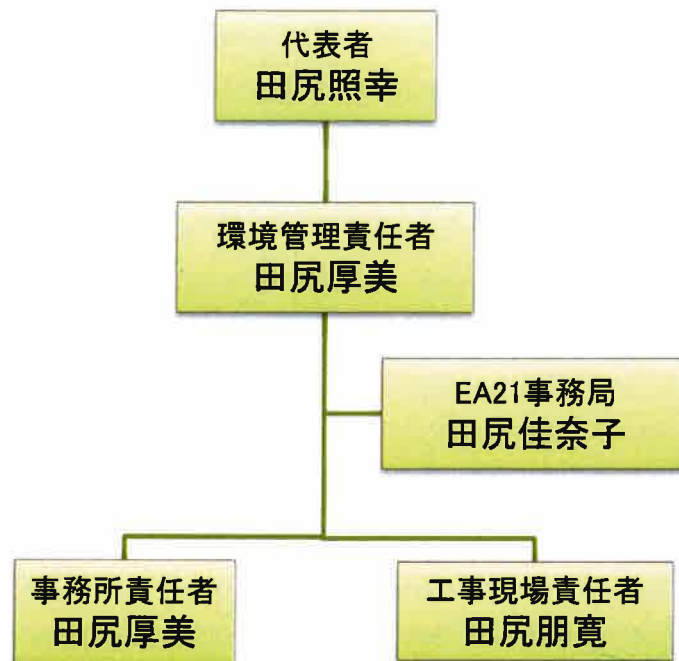
期首:7月 期末:6月

(7) 認証登録範囲

有限会社 熊池建設の全組織、全活動を認証登録範囲とする。



EA21推進体制



代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の制定 ・環境組織の明確化、必要な資源の投入 ・全体の評価と見直し
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・マネジメントシステムの構築、実施、維持 ・目標管理票の作成と進捗管理 ・目標に対する実績や問題、改善の社長報告 ・環境コミュニケーションの総括窓口 ・教育・訓練の総括(緊急事態の想定、訓練含む)
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・集計表作成 ・文書、記録作成 ・環境活動進捗の把握
事務所責任者 工事現場責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境活動の実施 ・環境管理責任者への報告 ・改善提案

環境方針

環境理念

有限会社 熊池建設 は、建設業に携わる事業者として、人と自然を大切に、よりよい地球環境の創造及び地域社会に貢献することを目指すため、環境方針を定め、以下の事項について積極的に環境活動を推進する。

重点推進事項

- (1) 二酸化炭素排出量の削減
 - ・電気 ガソリン 軽油等の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。

- (2) 廃棄物の削減
 - ・建設工事に伴う産業廃棄物について、分別回収による資源の有効活用に努めます。
 - ・建設リサイクル法に従い適切なリサイクルに努めます。

- (3) 総排水量の削減
 - ・車両の洗車時や水道使用時の水量を削減し、総排水量の削減に努めます。

- (4) グリーン購入
 - ・循環型社会に貢献するためにグリーン購入を推進します。

- (5) 地域貢献
 - 地域の清掃を通じて、地域社会に貢献していきます。

- (6) 環境関連法規制の遵守
 - ・事業に関する環境関連法規制等を遵守します。

制定：平成27年3月20日



有限会社 熊池建設

代表取締役 田尻照幸

環境目標

会計年度 期首:7月 期末:6月

番号	項目	平成27年度 実績 (H27年7月～H28年6月)	平成28年度 環境目標	平成29年度 環境目標	平成30年度 環境目標	平成31年度 環境目標
1	二酸化炭素 排出量の削減 (Kg-CO2)	63,860	63,221	前年度実績 の1%削減	前年度実績 の1%削減	前年度実績 の1%削減
1-1	電気使用量 の削減 (kWh)	6,109	6,048	前年度実績 の1%削減	前年度実績 の1%削減	前年度実績 の1%削減
1-2	ガソリン使用量 の削減 (L)	4,838	4,790	前年度実績 の1%削減	前年度実績 の1%削減	前年度実績 の1%削減
1-3	軽油使用量 の削減 (L)	18,627	18,441	前年度実績 の1%削減	前年度実績 の1%削減	前年度実績 の1%削減
2	廃棄物の リサイクル	—	分別活動の推進 廃棄物の再資源化 100%維持	分別活動の推進 廃棄物の再資源化 100%維持	分別活動の推進 廃棄物の再資源化 100%維持	分別活動の推進 廃棄物の再資源化 100%維持
3	水使用量 の削減	—	節水活動の推進	節水活動の推進	節水活動の推進	節水活動の推進
4	グリーン購入	—	グリーン商品購入推 進・数値化	前年度実績 の1%増加	前年度実績 の1%増加	前年度実績 の1%増加
5	地域貢献	地域清掃 2回/年	地域清掃 2回/年	地域清掃 2回/年	地域清掃 2回/年	地域清掃 2回/年

☆電気のCO2排出係数はH25年度九州電力実排出係数0.613を使用
☆化学物質の使用はなし



環境活動計画

項 目	具 体 的 な 活 動	頻 度	事 務 所	現 場
1. 二酸化炭素排出量の削減 1-1. 電気使用量の削減	①空調機の室内温度設定・実施の徹底	毎日	△	—
	②空調機フィルターの定期的清掃	年2回	○	—
	③日よけ、ブラインドによる室温上昇防止(夏季)	毎日	○	○
	④クールビズ・ウォームビズの推進	適時	○	—
	⑤省エネ型の照明器具に買い換える	適時	△	—
	⑥夜間・休日は、パソコン・プリンター等の主電源を切る。	毎日	○	○
1-2. ガソリン使用量の削減	①社用車エコドライブの推進・徹底(アイドリングストップ、経済運転、タイヤ空気圧チェックなど)	毎日	△	△
	②低燃費代車を増やす	適時	○	—
1-3. 軽油使用量の削減	①社用車エコドライブの推進・徹底(アイドリングストップ、経済運転、タイヤ空気圧チェックなど)	毎日	△	△
	②整備車両の引き取り・納車の合理的運行	毎日	—	○
	③社用車の定期的な整備による燃費向上	適時	—	○
	④社用車の車両別燃費の把握	毎月	—	△
2. 廃棄物のリサイクル化	①廃棄物の分別促進	毎日	○	○
	②リサイクル促進	毎月	○	○
	③適切な業者の選定と引渡	適時	—	○
	④マニフェスト伝票の適切な管理	適時	○	○
	⑤社内文書は裏紙を使用する。	毎日	○	—
3. 水使用量の削減	①洗車の水使用削減(無駄な水を使用しない)	適時	○	○
	②節水の工夫と実施 (適量の給湯、出しっ放し防止など)	毎日	○	○
	③前日の残り湯は、観葉植物へまく	毎日	○	—
4. グリーン購入	①グリーン商品の把握・購入(数値化してわかりやすく)	適時	○	—
5. 地域貢献	①地域清掃の実施	年2回	○	○

評価基準

○:出来た
△:改善の余地あり
×:出来なかった



環境目標の実績、評価と今後の取組内容

取組期間:H28年7月～H29年6月

項目	H27年度実績 (H27年7月～H28年6月)	目標 (H28年7月～H29年6月)	実績 (H28年7月～H29年6月)	達成度	判定	評価及び今後の取組み内容
1. CO2排出量 (Kg-CO2)	63,860	63,221	60,628	104%	○	CO2排出量、軽油使用量は達成できた。電気使用量、ガソリンは達成できなかった。電気は夏季のエアコン使用。ガソリンは工事の規模及び現場への距離の変化と考えられる。
1-1. 電気使用量 (kWh)	6,109	6,048	6,855	88%	×	
1-2. ガソリン使用量 (L)	4,838	4,790	5,035	95%	×	次年度は、エアコンの使用の仕方の工夫、エコドライブの徹底をし、目標値の達成に努める。
1-3. 軽油使用量 (L)	18,627	18,441	17,047	108%	○	
2. 廃棄物のリサイクル	分別活動推進 建設リサイクル廃棄物のリサイクル化 100%	分別活動推進 建設リサイクル廃棄物のリサイクル化 100%維持	分別活動推進 建設リサイクル廃棄物のリサイクル化 100%	100%	○	分別活動推進できた。(写真参照)社内文書は裏紙使用を徹底。引き続き、次年度も意識づけのため継続していく。
3. 水使用量	節水活動の推進	節水活動の推進	節水活動の推進	100%	○	節水活動を推進できた。次年度も継続していく。
4. グリーン購入	—	グリーン商品の購入推進・数値化してわかりやすくする。 地域清掃 ①ボランテア2回/年 ②現場周辺の清掃 ③事務所周辺の清掃	グリーン商品購入 48%	100%	○	引き続きグリーン商品を1つでも多く購入するようにする。 来年度は1%増加を目標とする。
5. 地域貢献	地域清掃 ①ボランテア2回/年 ②現場周辺の清掃 ③事務所周辺の清掃	①②③実施	①②③実施	100%	○	実施できた。次年度も継続していく。

☆電気のCO2排出係数はH25年度九州電力実排出係数0.613を使用する。

具体的な取組状況

CO2排出量削減

エアコンの設定温度の徹底



ブラインドの利用



水使用量削減



分別活動の推進

埋立ごみ、ビン・缶、ペットボトル、燃えるごみ、プラスチックごみ



社内文書の裏紙使用



地域貢献

くまもとマイリバーサポート協定によるボランティア活動



地域の清掃活動への参加・事務所周辺の清掃



グリーン商品購入一覧表

商品名	数量	グリーン購入法適合商品	グリーン商品購入数
名刺用紙	1	—	
インクカートリッジ ICBK50 5個まとめ売り	1	○	1
インクカートリッジ ICC50 シアン	2	○	2
テープのり	1	○	1
ペン修正液	1	○	1
修正テープ交換テープ	1	—	
インクカートリッジ ICM50 マゼンタ	1	○	1
ネームランドテープ	1	—	
速乾朱肉60号	1	○	1
インクカートリッジ ICBK50 ブラック	4	○	4
インクカートリッジ ICY50 イエロー	1	○	1
薄型マグネットホワイトボードシート	1	—	
ハイパワーマグネットフック	1	—	
A3コピー用紙 1セット(500枚入×2冊)	1	—	
A4コピー用紙 1箱(500枚入×10冊)	2	—	
ワードライタ用ホルダ・替え芯セット	1	—	
インクカートリッジIC6CL506色パック1パッ	3	○	3
A3コピー用紙 1冊(500枚入)	1	—	
名刺用紙 100シート	1	—	
ネームランド テープ12MM白色テープ黒文字(5個)	1	—	
PR0テープカートリッジ 白 12mm 5個入	1	—	
赤白7本御見舞 短冊2枚付	2	—	
黒銀7本短冊3枚付 E5-601 1セット(30枚入)	1	—	
インクカートリッジ ICBK59 ブラック	4	○	4
ゼロハンテープ 1パック(10巻入)	1	—	
ビニールパッチ	1	—	
ホワイトボードマーカー 黒 5本	1	○	1
ホワイトボードマーカー 赤 5本	1	○	1
フラットファイル A4タテ 10冊入	4	○	4
ダブルクリップ ブラック 中 幅25mm 50個	1	—	
ダブルクリップ ブラック 小 幅19mm 50個	1	—	
スタンダードクリアホルダー 1パック(100枚入)	2	—	
マイタック(R)PCラベルインデックス 特大 青	4	—	
マイタック(R)PCラベルインデックス 中 赤	1	—	
	52		25

グリーン商品購入率…48%

環境法規の遵守評価

遵守評価の結果、環境法規の違反はありません。なお、関連機関からの指導や訴訟もありません。

環境法規制登録表

作成日:平成27年 9月 15日

見直し日:平成29年 8月 29日

遵守評価日:平成29年9月30日

法規制等 廃棄物処理法	適用内容	対象設備、施設 産業廃棄物置場	届出	条項	遵守事項 (法規制/自主規制)	頻度等	記録	遵守評価	コメント
	産業廃棄物の保管		—	規8	(法規制) 1.表示板の設置 (自主規制) 1.清掃、漏洩防止	常時	—	○	
	委託契約書	委託業者	—	—	(法規制) 1.委託契約書(書面)	1回/週(確認)	—	○	
	マニフェスト管理	委託業者	—	令6の2 法12の3 法12の3	(法規制) 1.マニフェストの発行、管理 2.名票の受領確認	契約時	委託契約書	○	
	産業廃棄物の運搬	運搬作業		令6 規7の2	(法規制) 1.産業廃棄物運搬の表示 2.許可証写し及びマニフェストの携帯	処理委託時 発行後	マニフェスト マニフェスト	○ ○	
	産業廃棄物管理票交付等 状況報告	産業廃棄物		規8の27	(法規制) 1.マニフェストの集計(4月～翌年3月の1年分) 2.産業廃棄物管理票交付等状況報告書提出	運搬時 運搬時		○ ○	
家電リサイクル法 PCリサイクル法	テレビ、エアコンの廃棄 PC、周辺機器の廃棄	テレビ、エアコン パソコン等	—	法6 法11	(法規制) 1.廃棄時の適正処置(発生時のみ) 2.リサイクル料支払い(発生時のみ)	支払い時 廃棄時	領収書 業者報告書等	該当なし 該当なし	
自動車リサイクル法	社有車の適切な廃棄	社有車	—	法73 法8	(法規制) 1.リサイクル料支払い(発生時のみ) 2.廃棄時の適正処置(発生時のみ)	支払い時 廃棄時	領収書 業者報告書等	該当なし 該当なし	
建設リサイクル法	建設(土木)工事に係る資材 の再資源化の促進	特定建設資材 1.コンクリート、2.コンクリ- ト、鉄からなる建設 資材	○ ○	法9 法10 法18	(法規制) 1.土木工事に係る分別、再資源化の実施 2.対象工事の7日前までの市町村長への届出 3.再資源化完了の書面報告	対象工事実施時	施工計画書	○ ○ ○	
騒音規正法	土木工事における騒音規制	特定建設作業	○	法14	(法規制) 1.対象工事の7日前までの市町村長への届出	対象工事実施時	施工計画書	○	
振動規正法	土木工事における振動規制	特定建設作業	○	法14	(法規制) 1.対象工事の7日前までの市町村長への届出	対象工事実施時	施工計画書	○	
浄化槽法	浄化槽の保守点検、清掃及び 定期検査	浄化槽	— —	法10 法11	(法規制) 1.浄化槽の保守点検及び清掃 2.定期検査	1回/年 1回/年	保守点検・清掃報告書 定期検査報告書	○ ○	
熊本県地球温暖化の 防止に関する条例	事業活動全般 通勤		○ ○	例11～19 例29～31	事業活動温暖化対策計画書及び報告書の提出 工口通勤環境配慮計画書及び報告書の提出	1回/年 1回/年	計画書及び報告書 計画書及び報告書	○ ○	計画書提出済

代表者による全体の評価と見直し記録

1. 代表者への報告：田尻厚美

No.	評価事項	評価結果(指摘事項)	改善内容	責任者
1	環境関連法規等の順守状況	遵守できている。 特に問題はなし		環境管理責任者
2	環境目標の達成度 活動の進捗状況等の確認	①電気使用量未達成(88%) ②ガソリン使用量未達成(95%) ③CO2排出量・軽油使用量は目標値を達成でき た。	①引き締まり節電を心がける。 ②引き締まりエコドライブを心がける。	環境管理責任者
3	環境に関する苦情や要望対応状況	苦情・要望などは発生していない。		環境管理責任者
4	前回の代表者の指示事項への対応	新たな環境目標を作成した。 新たな環境活動計画を作成した。		環境管理責任者

2. 全体の評価と見直し 全体の評価

実施日:H29.7.30

代表取締役 田尻照幸

エコアクションに取り組んで2年目となった。以前に比べ、環境への意識が少づつではあるが高まってきたように思える。今年度は、猛暑の影響により、電気使用量が昨年度を上回ってしまいました。また工事の増加等により、ガソリン使用量も目標値を達成できなかった。しかし、エコドライブや建設機械に過剰な負荷を掛けないようにする等、しっかり行うことが出来た。電気使用量については猛暑の影響は仕方がないので、来年度も引き続き節電に努めるとともに、出来ることを探していきたいと思う。

来年度も、エコドライブや節電等、少しでも環境のために出来ることを社員全員で取り組んでいきたい。

見直し

No.	環境や社員の見直し	変更の必要性	指示内容	責任者
1	環境方針	あり・なし	これ以上の総排水量の削減はむずかしいので、節水活動の推進とする。	環境管理責任者
2	環境目標	あり・なし	平成28年度を基準として、新たな環境目標を作成する。	環境管理責任者
3	環境活動	あり・なし	「環境への取組自己チェック」から環境活動計画に組み入れる。	環境管理責任者
4	その他	あり・なし		環境管理責任者